

図書館かがわ

—香川県立図書館報—

第141号

2023年12月



書庫見学

—「親子de図書館探検」を実施しました。—

ふだんは見るできない書庫を見学したり、カウンターで図書館のお仕事を体験したりできる行事を11月3日（金・文化の日）に行いました。

午前、午後のそれぞれの部に小学生とその保護者が5組ずつ参加しました。



本の配架体験

カウンター体験

● レファレンス日誌から 第19回 ●

年賀状レファレンスの思い出



昔は晩秋ともなると、レファレンスカウンターに年賀状の図案が載った本はないかという質問がしばしば寄せられていました。その年に発行された年賀状の図案集はたいてい貸出中で、前年の図案集では干支が違うので参考になりません。そこで、よく紹介させていただいたのが雑誌です。以前の「太陽」(平凡社)や「趣味の水墨画」(ユーキャン)には、毎年「決定版 辰歳年賀状図案集」、「年賀状(辰)を描く」といった特集が載っていました。

また、「嫁いだ娘が亡くなった年、親は年賀状を出してはいけないのか」という質問を受けたこともあります。蔵書で明確な回答は見つけれませんでした。が、「おつきあいとマナー～冠婚葬祭かがわの相場としきたり(2004)」という本に「(前略)また、実家や兄弟姉妹などの不幸の場合の年賀欠礼はがきは、姓が変わると関係ないなど、意見もいろいろ。本人の心次第で、決まったルールはありません。」という記述があったものを紹介させていただいたこともありました。

年賀はがきの発行枚数のピークは2003年で約44億6千枚でしたが、電子メールやSNSの普及などで、2024年用の年賀はがきは14億4千枚となり、ピーク時の3分の1に減少しています。最近では「終活年賀状」、「年賀状じまい」といった言葉もよく耳にするようになり、年賀状についてたずねられることも少なくなりました。

書庫には「ワープロ・年賀状アイデア集(1986)」、「『プリントゴッコ』のハイテクニック(1989)」、「筆ペんの年賀状(1996)」などの本があります。当時は、こんな本を参考にしながら、ユニークで素敵な年賀状作りに取り組んでいたのでしょうか。多くの人が、いろいろな思いをこめて、たくさんの年賀状を一生懸命に書いていた時代がしのばれます。

新しいサービスが始まりました！

令和5年12月5日（火）スタート

1 窓口サービスの向上

- (1) オンラインで「利用者登録申請」ができます。
 - ・新規の申請の方に限ります。
 - ・オンラインで登録された方には、貸出カードを交付しません。
- (2) スマートフォン画面に表示した貸出カードによる資料の貸出し
 - ・オンラインで利用登録された方に加え、既に貸出カードが交付されている方も、スマートフォン画面に貸出カードを表示し、窓口で本を借りることができます。
 - ・表示した画面をカウンターでご提示ください。（スクリーンショットでの貸出はできません。）
- (3) マイナンバーカードによる資料の貸出し（要事前手続）

利用者番号とマイナンバーカードのマイキーIDを連携させることで、マイナンバーカードが貸出カードとして利用できます。

【条件】

 - ・マイキーID設定済のマイナンバーカードをお持ちの方
（当館では、マイキーIDの設定はできません。）
 - ・当館の利用者登録を完了されている方

本を借りる際に、マイナンバーカードを貸出カウンターのICカードリーダーにタッチしてください。

2 蔵書検索機能の強化

- (1) Web書棚の導入
「インターネット蔵書検索」(PC版)の検索結果画面に仮想の書棚を設け、図書の表紙やあらすじなどを表示します。
- (2) 県内図書館横断検索のリニューアル
県内図書館40館(市町:32館、大学:9館)の蔵書を一度に検索できる「横断検索」をリニューアルしました。

3 貸出履歴の導入(利用者による選択)

「Myライブラリ」に貸出履歴の保存ができます。保存するかどうかの設定や保存した履歴の削除は、利用者の任意となります。（初期設定は保存されない状態です。）

4 見やすいホームページへの移行

ホームページ(PC版)が端末の画面サイズに応じて表示され、見やすくなりました。

※詳しくは、当館HPIにある各サービスのご案内をご覧ください。